



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

第211号

ラポールの祭典2024 開催しました



手話体験

9月22日(日)、ラポール全館を会場とした「ラポールの祭典2024」が開催されました。約1,600人の来場がありました。

当施設では「きこえない世界をのぞいてみよう!」と題し、来年開催される東京2025 デフリンピックや当施設事業に関するパネル展示、手話体験、耳のきこえない陸上選手が使う「スタートランプ」体験を行いました。

初めて手話に触れる方もそうでない方も、スポーツの手話、自分のお名前、挨拶などで会話を楽しんでくださいました。「スタートランプ」体験は今年初の試みでしたが、光の合図で走り出す難しさと楽しさを体験していただきました。



スタートランプ体験

昨年に続き(一社)横浜市聴覚障害者協会と横浜市手話通訳者協会、今年は(一社)日本デフ陸上競技協会にもご協力いただき、当施設ブースには160人(※昨年は130人)を超えるお客様が来場、「きこえない世界」へ触れていただくことができました。

また来年も、「ラポールの祭典」でみなさまにお会いできるのを楽しみにしています。ありがとうございました!



年末年始の休みについて



	12/28(土)	12/29(日)	12/30(月)	12/31(火)	1/1(水)	1/2(木)	1/3(金)	1/4(土)
職員	○ ラポールは休館	×	×	×	×	×	×	○ ラポールは休館
FAX 電話 メール LINE	17:00 まで ○ LINEビデオ チャットは×	×	×	×	×	×	×	9:00 から ○ LINEビデオ チャットは×

課題別研修「大会場面の手話通訳（模擬通訳）」

8月17日(土)、横浜ラポールシアターにて標記研修を行い、46人が参加しました。講師は横浜市の非常勤手話通訳者である渡邊智子氏と仁木美登里氏、また3人のゲスト講師(ろう者)にも協力していただき本番さながらの大会場面を再現しました。

大会(式典場面)の構成要素、大会通訳での優先事項などを確認したあと、担当ごとの打ち合わせを経て、模擬通訳に臨みました。式典や大会宣言の厳かな空気と、福引で盛り上がる様子のコントラストをどう伝えていくか、一人一人が自身の課題と向き合いました。終了後には観察者、各通訳担当者に分かれて振り返りを行い、客観的な視点を共有することができました。

講師からは、現場力向上を目指して臨機応変に対応すること、横浜の「チーム」として協働を意識すること、批判ではなく建設的な指摘と振り返りをする事等のアドバイスをいただきました。本研修で大会通訳での役割や動き方を学びました。今後、通訳者全体で行事や式典の通訳を担っていけることを願います。



手話通訳者全体研修



8月24日(土)、ろう者の善岡修氏を講師に、「手話通訳者にのぞむこと」をテーマにお話しいただきました。講師は手話指導やドラマの手話監修等、幅広く活動をされています。講義はオンラインで実施し、手話通訳者108人の参加がありました。

講演などのフォーマルな場と会話の場での手話の違いや、誤って読み取られやすい手話単語の表現の工夫、視線誘導の方法などを、画面越しですがワークショップ形式でご指導いただきました。改めて、分かりやすい手話表現について考える機会となりました。

要約筆記者研修

【1年次研修】

今年度の要約筆記者1年次研修が終了しました。パソコンは全7回、「連係入力」「チームワーク」を中心に実施しました。手書きは全5回、OHC実技として「養成講習会」「コミュニケーション教室」などの模擬通訳を行いました。最後の総復習では、実際に派遣現場に出て気づいたこと、自身の課題などについて話し合い、講師からも今後に向けてのアドバイスをいただきました。要約筆記者としての今後の活躍を期待しています。

【要約筆記者現任研修】

9月11日(水)、パソコン研修では横浜市中途失聴・難聴者協会からお二人をお招きし、行政主催の委員会を想定した実技研修を行いました。会議場面において同時性を保つために、簡潔な文章をコンスタントに表示していくこと。そのためには事前に利用者やチーム内で打合せを行い、共通認識をもつことが大切だということを確認しました。手書き研修では「ひたすら要約」と題し、短めの音源を筆記し、ペアで要約文の良いところを伝えあう研修を行いました。「人の要約の良い点を見つけるには、話者の話をしっかり聞きつかむことが必要になる」「語彙を増やして、読みやすい要約を心掛けていきたい」などの感想がありました。

10月9日(水)の手書き・パソコン合同研修はオンラインで開催し、全特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会の山岡千恵子講師から「要約筆記に必要な「聴く力」」をテーマにお話しいただきました。相手の意図を理解し、考えや気持ちに共感できる力「聴解力」を高めること。話の全体の構造を掴む力や推察する力を養う実習なども行い、「通訳者として聴く」ことを細分化して整理していただき、とても学びの深い研修でした。

～ 職員の異動がありました ～

【新採用】 9月1日付 小林 直登(こばやし なおと) (聴覚障害支援員 派遣事業担当)

「聞こえの相談交流サロン」

9月20日(金)、聞こえにくい方向けの交流会「聞こえの交流相談サロン」を開催しました。当日は35℃を超える予報が出るほど暑い日で、やむなく欠席される方もいましたが、横浜市中途失聴・難聴者協会の皆さんにもご協力いただき、無事に開催することができました。

第一部では交流会として、聞こえや補聴器に関する悩みの共有や、ご自身の経験を元にしたお話、手話、人工内耳などいろいろなテーマで交流をしました。また第二部では、「聞こえを助ける機器の紹介」として、振動や光で音を伝える機器や音声認識アプリの体験なども行いました。この交流サロンは4回目の開催となります。参加者からは「同じ経験をしている人がいることがわかり少し元気になった」「次回も参加したい」などの感想をいただきました。今後も継続して実施していきます。



参加報告

全要研集会 2024

9月29日(日)、全国要約筆記問題研究集会2024(秋季)(主催:全特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会)が名古屋都市センターにて開催され、当施設職員が参加しました。4年ぶりの集合型での開催でした。

全体会は東北大学大学院情報科学研究科の邑本俊亮教授の「文章を理解するとは」のご講演でした。心理学を言語認知(文章の理解)やコミュニケーションの場面に応用するとどうなるのかなど例示をまじえてお話していただきました。午後の分科会では、要約筆記(手書き)の実技研修に参加しました。基本的な要約筆記技術の確認としてロール、ノートテイクの実習を行いました。文の関係性を考えながら、要点を掴んで書き表すことなど、ポイントを絞って学習しました。全国から集まった参加者の要約文を見比べながら、自分の要約筆記を振り返るきっかけにもなり、大変勉強になりました。

全聴情協主催の相談支援研修会

9月26日(木)~27日(金)、堺市立健康福祉プラザ(大阪府)にて、全国聴覚障害者情報提供施設協議会主催の相談支援研修会が開催されました。全国の情報提供施設から34人の参加があり、当施設からも相談担当職員1人が参加しました。

1日目の基調講演では同協議会理事長の中西久美子氏から「聴覚障害者情報提供施設での相談支援事業のあり方」をテーマに、きこえない人の生活を支えるために必要な視点として、相談援助の専門性+社会全体を動かしていく専門性が大切だというお話をお聞きました。

また2日目の分科会では「ろう者の相談」「難聴者の相談」「基礎知識」と3つのグループに分かれ討議などを行いました。当施設からは「ろう者の相談」の分科会に参加し、ICTを活用した遠隔相談などの取り組み状況や、他の専門機関と連携した支援等について各施設の課題や工夫を共有しました。

令和6年度横浜市総合防災訓練(第45回九都県市合同防災訓練)

9月29日(日)、緑区の長坂谷公園にて「横浜市総合防災訓練」が行われました。横浜市身体障害者団体連合会ブースに、聴覚障害者災害対策救援横浜市域本部メンバーとして当施設職員2人も参加しました。手話・筆談・視覚障害者体験・車いす体験などを行い、ブースにたくさんの方が来てくれました。

起震車をはじめ、災害に関する多くのブースがあり、ひとりで行う応急手当やVR等体験を通して、災害時は落ち着いて臨機応変に動くことが大切だと改めて感じました。この訓練は毎年持ち回りで実施されます。



年末年始の緊急時について

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。
日本財団電話リレーサービス（無休/24時間）を利用した際の緊急通報や問い合わせが可能です。

機関名	FAX番号	電話番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	119（横浜市内）	119	無休/24時間	○
神奈川県警察	0120-110221	110	無休/24時間	○
横浜市救急相談センター	045-242-3808	045-232-7119	無休/24時間	×
横浜市コールセンター	045-664-2828	045-664-2525	無休/8時～21時	×



（9月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2,759	66	2,825	2,931	医療	57	111
司法	13	0	13	17	職業	26	58
教育・保育	350	3	353	450	教育	0	0
労働・雇用	257	0	257	318	住宅	13	21
社会生活	541	81	622	590	生活	154	228
自己啓発	99	16	115	165	福祉	80	116
福祉推進	547	507	1,054	960	法律	9	13
介護保険	1,040	10	1,050	1,065	聞こえ	32	33
他都市	38	3	41	43	合計	371	580
合計	5,644	686	6,330	6,539	昨年同月	477	846
昨年同月	5,888	651	6,539				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	17	参加人数	376	自主制作作品数	38
要約筆記	回数	17	参加人数	358		



- 9月**
- 3 課題別ブラッシュアップ研修
 - 4 健康学習会(ラポール上大岡)
 - 4 特殊健康診断医療機関訪問
 - 8 横聴協のつどいブース出展(西区公会堂)
 - 8 出前講座(青葉区谷本地区社協)
 - 9 登録手話1年次研修
 - 9 聴覚障害者災害対策救援横浜市域本部会議
 - 9 要約筆記者フォローアップ研修
 - 10 視聴覚機器点検
 - 10 課題別ブラッシュアップ研修
 - 10 相談支援研修参加
 - 11 要約筆記者現任研修
 - 17 課題別ブラッシュアップ研修
 - 19～20 全国聴覚障害者情報提供施設協議会
理事会(京都府)
 - 20 聞こえの相談交流サロン
 - 22 ラポールの祭典
 - 24 要約筆記者1年次研修
 - 25 主管課定例会議
 - 26～27 全聴協相談支援研修会参加(堺市)
 - 29 全要研集会 職員参加(名古屋市)
 - 29 手話通訳者養成講座Ⅱ講義 講師派遣
 - 29 横浜市総合防災訓練 職員参加
(緑区長坂谷公園)
 - 30 衛生委員会
 - 10月**
 - 1 要約筆記者1年次研修
 - 2 健康学習会(横浜ラポール)
 - 3 障害者芸術鑑賞ワークショップ 講師派遣
 - 5 登録手話通訳者1年次研修
 - 5 手話通訳者養成講座通訳Ⅰ講義 講師派遣
 - 7 登録手話通訳者2年次研修
 - 8 視聴覚機器点検
 - 8 山口県聴覚障害者情報提供施設 講師派遣
 - 9 要約筆記者現任研修(オンライン)
 - 13 第23回全国障害者スポーツ大会
「SAGA2024」最終説明会・結団式
 - 15 課題別ブラッシュアップ研修
 - 19 手話通訳者全体研修
 - 21 横浜市立ろう特別支援学校運営委員会参加
 - 21 出前講座(奈良地区民生委員協議会)
 - 23 主管課定例会議
 - 24～29 全国障害者スポーツ大会(佐賀県)
選手団帯同
 - 28 衛生委員会
 - 29 出前講座(いずみ野地域ケアプラザ)
 - 31 出前講座(葛が谷地域ケアプラザ)

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェーブ》

発行日:令和6年10月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>